

ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。
この旅行は2022年4月1日現在を基準としています。
■旅行契約の解除
参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。
<解除時期・取消料> ※オプションツアーも同様です。

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日	旅行費用の40%
旅行開始日当日	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

利用予定航空会社

ANA(全日本空輸)
またはJAL(日本航空)
またはスカイマーク

利用予定バス会社

ゆいバス、豊見観光バス、
おろくバス、那覇バス、
琉球バス交通、北部観光バス

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
①企画手配料・及び手配料金
②交通費：旅程に明示した航空機(エコノミークラス)、フェリー代
③宿泊費：下記ホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準)
沖縄本島北部＝ゆがふいんおきなわ、リゾネックス名護、本部グリーンパーク、
グリーンリッチホテル名護、サンコーストホテル
那覇市内＝リゾネックス那覇、オーシャン、サン沖縄、コンフォートホテル、ルートイン
泊港、ホテルルートイン那覇旭橋駅東、ルートイングランティア那覇、琉球サンロイヤル、
パシフィックホテル、サンブラザ、南西観光ホテル、グランビュー、グレイスリー
④食事代(朝3回 昼2回 夕2回)
⑤視察費用：手配料
⑥手荷物運搬料：一人1個、15Kgまでの手荷物運搬料金
⑦見学費用：旅程表に明示した市内の見学のガイド料、入場料(自由時間は除く)
⑧旅行傷害保険(死亡1,000万円、入院1日当たり6,000円、通院1日当たり4,000円)
⑨航空特別保険、空港施設使用料
⑩添乗員同行の費用：1名 ⑪講師謝礼・同行諸経費
■旅行代金に含まれないもの
①旅程に記載のない行動をされる場合の宿泊、交通費、食事、及び個人的に 購入(お土産、飲食等)したもの ②ご自宅～空港までの交通費
③オプションツアー代金(お一人様**9,000円**)
④1人部屋追加料金(一人あたり12,000円/3泊) ※基本2名一室

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業84号 JATA正会員

 株式会社 **富士国際旅行社**

TEL: **045-212-2101** FAX: **045-212-2201**
henshu@fits-tyo.com 担当: 西須(さいす)・山田・金光(かなみつ)・小山

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで
〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理
営業時間: 火～木曜日 / AM10:00～PM4:00
(土日・祝日は休ませていただきます。)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

お申込方法

- ①同封の国内企画旅行取引条件説明書面をご確認の上、下記申込書にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送・FAXでお送りください。(国内企画旅行取引条件説明書面の同封がない場合は、お申込書が届き次第、旅行社より郵送します。)
②**申込金20,000円**(旅行費用内金)または**旅行費用全額**を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へご送金ください。
(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)

郵便振替口座番号 **00140-4-39332** 加入者名 **株式会社 富士国際旅行社**

③当社より**旅行費用残金請求書**または**受領書**を送付いたします。(旅行費用残金は出発3週間前迄にお支払いいただきます)
④ご出発の約10日前には出発当日のご案内や日程の詳細などの、ご旅行資料を送付いたします。

き・り・と・り
株式会社 富士国際旅行社 宛 ●お申込後、当社から送付します取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報の提供について、ご確認ください。
参加申込書 沖縄本島と伊江島 出発日を選択⇒【①5月15日(日) ・ ②6月24日(金)・ ③8月20日(土)】

ふりがな		性別	旅行出発時 年齢	ふりがな		性別	旅行出発時
氏名		男 女	歳	同行 ご家族		男 女	歳
生年月日	年 月 日 生			生年月日	年 月 日 生		
住所	(〒 —)			出発空港	希望空港に○をお付け下さい↓ 羽田・伊丹・関西・中部・福岡・その他(※行程表に記載の時刻・ツアー代金は、羽田発着の場合です。羽田以外をご希望の方は、別途、航空便時刻・御料金をご案内いたします。)		
電話 FAX 携帯番号 メール	() — — () — — () — — @			参加人数 及び お部屋割り について	☐ 一人部屋希望 / 別途追加12,000円がかかります。 ☐ 2名～3名部屋: () 様と同室を希望 ☐ 2名～3名部屋: どなたでも良い(男女別)		
旅行中 緊急 連絡先	【連絡先名】 (続柄:) 【住所】 【電話番号】			前泊	各空港周辺の前泊ホテル手配を承っております。 ☐ 前泊を希望する (空港周辺) ※料金別途ご案内		
アンケート	今回の企画をどこでお知りになりましたか? ○お付け下さい。 弊社HP・いい旅いい仲間・知り合い、家族のご紹介・その他 ()			旅行社への 連絡事項	アレルギーがある方、健康状態など旅行社へ連絡事項がある場合、記入下さい。		
オプション ツアー	☐ 申し込まない ☐ 申し込む (オプション名: 南部戦跡)						



旅行期間 **2022年**
①5月15日(日)～18日(水) ②6月24日(金)～27日(月)
③8月20日(土)～23日(火)

申込締切 **①4月28日(木) ②6月3日(金) ③7月29日(金)**

旅行代金 **①110,000円 ②119,000円 ③125,000円**

添乗員 羽田空港より同行します **定 員 20名** (最小催行人数8名様)

※上記は、羽田空港発着の旅行代金です。
羽田空港以外の発着・現地参加ご希望の方はお問合せ下さい。
締切日以降は空席があればご参加可能です。お問合せ下さい。

旅の魅力

- **沖縄の縮図といわれる闘争の島「伊江島」や沖縄本島最北端の辺戸岬を訪れ、本土復帰50年を考えます。**
- **嘉手納基地爆音訴訟、辺野古新基地建設の現状を学び、本土復帰から現在まで、住民の生活や基地問題がどのように変わったのか学びます。**



団結道場(伊江島)

企画・実施

※写真は全てイメージです。

 株式会社 **富士国際旅行社**

〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201



沖縄の気候		
最高気温／最低気温		
5月	6月	8月
26 21	29 24	31 26

日次	都 市	交通機関	時 刻	行程・食事（朝・昼・夕）
①	東京・羽田空港発 沖縄・那覇空港着	航空機 専用車	午前 午後	空路、沖縄県・那覇へ(羽田空港集合：午前7時半～8時半頃) ＊不屈館 ＊沖縄県立博物館（企画展「復帰50年 沖縄復帰前展」を見学） ＊嘉数高台 夕 刻 夜：参加者夕食交流会
	ホテル着			本部または名護市内泊 朝X 昼X 夕O
②	ホテル発	専用車 フェリー	午前	本部港発、フェリーで伊江島へ ＜伊江島内見学＞ ●ニヤティヤ洞 ●伊江島飛行場跡 ●団結道場 ●湧出(わじいー) ●米軍基地ゲート前 ●芳魂之塔 ●ユナパチク壕跡 ●アハシャガマ ●陣地壕跡 ●公益質屋跡 ●城山(外観) ●LCT爆発事件之碑 ●ニーバンガジュマル ●わびあいの里 夕方：フェリーで本部港へ
	ホテル着	フェリー		本部または名護市内泊 朝O 昼O 夕O
③	ホテル発	専用車	午前	＜沖縄本島内見学＞ ＊名護市（第一護郷隊の碑） ＊辺野古 ＊辺戸岬（祖国復帰闘争の碑） ＊嘉手納基地爆音訴訟について地元の方からのお話 ＊嘉手納基地周辺
	那覇市内ホテル着		夕 刻	那覇市内のホテル着後、各自で自由食 那覇市内泊 朝O 昼O 夕X
④	那覇空港着 沖縄・那覇空港発 東京・羽田空港着	航空機	午前 夕方 夜	出発まで自由行動 ★オプションツアー：南部戦跡見学 ＊アブチラガマまたはヌヌマチガマまたは轟の壕 ＊ひめゆりの塔と資料館 ＊魂魄の塔 ＊平和祈念公園（韓国人慰霊塔・平和の礎） 15:30～16:00頃、那覇空港集合 空路、東京・羽田へ 到着後、解散(羽田空港到着19時～21時頃)
				朝O 昼X 夕X

オプションツアーのご案内

※5名以上で実施いたします。
※ツアー終了後は、
那覇空港まで送迎します。

最終日：南部戦跡見学

お一人様 9,000円
（入場料・専用車・昼食・ガイド付）

- ＊アブチラガマまたはヌヌマチガマまたは轟の壕
- ＊ひめゆりの塔と資料館
- ＊魂魄の塔
- ＊平和祈念公園（韓国人慰霊塔・平和の礎）



column

「復帰」という言葉
「復帰」という言葉は必ずしも1952年に生まれたわけではありません。沖縄の「復帰」という言葉を歴史から振り返ると、敗戦した1945年12月に、本土に在住していた沖縄研究者、比嘉春潮（沖縄研究・社会主義運動家）、伊波普猷（沖縄研究の父）、大浜信泉（早稲田大学長）らの呼びかけで、在日沖縄県出身者で沖縄人連盟（伊波普猷会長）が結成され米軍下にあつた沖縄の解放を訴えたこと。その後、仲吉良光（新聞社編集長・元那覇市長）が上京し神山 政良（祖国復帰促進協議会会長）、伊江朝助（元国会議員）らとともにGHQ・外務省に復帰陳情を行い、以後沖縄の日本復帰を訴える活動を展開したことが始まりだとされています。なぜ、彼らはこんなに早い時期から「復帰」を考えていたのか。これも沖縄で一緒に考えていきましょう。

川満 彰（沖縄平和ガイド）
※いい旅いい仲間第72号・6ページ目抜粋

那覇

不屈館（瀬長亀次郎記念館）

沖縄で反米軍基地闘争や、本土復帰運動の象徴的存在であった瀬長亀次郎氏の遺品を中心に展示し、沖縄の現代史を学ぶことができる資料館。不屈館は、会員の皆様の会費や、来館者のご購入いただくグッズ・本の売上のみで運営されています。しかし、新型コロナウイルスの影響で来館者が激減。運営自体も大変厳しくなっています。不屈館への募金や来館、グッズ購入などご支援をお願いいたします。

沖縄県立博物館

おもろまちに位置する沖縄県立博物館は、沖縄の歴史・文化・自然・人々の暮らしや生活が学べる複合施設です。じっくり見るには3時間くらい必要なほど見ごたえがあります。2022年3月18日～8月21日まで常設展示では、「復帰50年・沖縄復帰前展」に企画展がが行われてます。

辺戸岬

辺戸岬と祖国復帰闘争の碑

辺戸岬は沖縄本島北端に位置し、1972年に沖縄本土復帰を記念して「祖国復帰闘争の碑」が建てられました。1972年に復帰するまでは北緯27度が国境でした。祖国復帰を願い人々は辺戸岬の広場で集会を開き夜には篝火をたいて運動する人々と共鳴し合ったといわれています。



伊江島

沖縄の縮図といわれる闘争の島

伊江島は沖縄本島北部、本部半島の沖に浮かぶ島です。島の中央には「タッチュー」と呼ばれる鋭い三角形のシルエットを持つ山(城山)がそびえ、本島からもその特徴的な姿は望めます。沖縄戦では有数の激戦地となりました。戦後は軍用地の接収率が最も高い島となり、その存在は島の人々の暮らしを大きく圧迫しています。かつて島民が学習し、戦う力を高めた「団結道場」や、土地闘争の中心人物だった故・阿波根昌鴻氏が設立した「やすらぎの家」と「わびあいの里」は訪れた人に土地闘争の軌跡を通じて伊江島と沖縄の現状を伝える貴重な場となっています。

辺野古

新基地建設で揺れる辺野古を訪問

沖縄本島北部の東海岸にある大浦湾は、多様な生態系を誇り、世界的にも貴重なアオサングの群集とジュゴンが生息する海です。そんなキレイな海を望む名護市辺野古では、普天間基地の移設先として辺野古への新基地建設が進められようとしています。2018年9月30日投開票された沖縄県知事選では、翁長雄志知事の遺志を継ぎ、辺野古新基地反対を掲げて初当選した玉城デニー前衆院議員が、過去最多となる39万6632票を獲得しました。2019年2月24日に実施された辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票では、県民の7割が反対を示しました。「基地がある所は狙われる。二度と悲惨な戦争は起こしてはいけない」「未来を生きる子供たちにきれいな海を残したい」という思いで、多くの人が現在も基地反対の座り込みを続けています。